

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年11月21日～)

発表日: 2005年11月21日 (月)

～日欧に見る中央銀行の立場の違い～

(No. MW-34)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
11月21日 (月)	日本	月例経済報告					
	米国	景気先行指数 (10月)		+0.7%	▲0.3～+1.0%	▲0.7%	前月比
11月22日 (火)	日本	第3次産業活動指数 (9月)		▲0.3%	▲1.6～+0.9%	+1.7%	前月比
	米国	20年債入札					
11月23日 (水)	日本	祝日					
	欧州	BOE金融政策委員会議事録 (11/10分)					
	米国	2年債入札					
11月24日 (木)	日本	通関統計 (10月)・貿易収支	★★	+8,973	+8,066～+10,300	+9,569	億円
	米国	祝日 (感謝祭)					
11月25日 (金)	日本	消費者物価・東京・総合 (11月)	★	▲0.9%	▲1.2～+0.2%	▲1.0%	前年比
		・東京・コア (11月)	★	▲0.2%	▲0.3～+0.2%	▲0.3%	前年比
		・全国・総合 (10月)		▲0.6%	▲1.2～+0.2%	▲0.3%	前年比
		・全国・コア (10月)	★★★	0.0%	▲0.1～+0.1%	▲0.1%	前年比
	欧州	企業向けサービス価格指数 (10月)				▲0.6%	前年比
	独 i f o 景況感指数 (11月)	★★	98.4	97.3～99.5	98.7		

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
注目度は筆者

今週の注目点

今週は、米欧の経済指標は小粒で、特に市場の注目度が高いものはない。日本では、週末に発表される消費者物価（全国・生鮮食品を除く）が注目される。コンセンサス通り前年比0.0%、ないしはレンジ上限の同+0.1%となった場合には、これまで消費者物価にかかっていた一時的な下押し特殊要因の剥落とともに、上昇率がプラスへと向かい始めたと認識されよう。これは、大方の市場関係者の見方通りであり、特にサプライズとなるものではないが、日銀の金融政策を展望する上で一つの分岐点になるといえよう。

それというのも、ここへきて政府サイドから日銀の政策変更についての異見が強まっているからだ。すなわち、“そもそもCPIが数ヶ月ゼロを上回ったからといって、デフレから脱却できたと言えるのか”といった内容で、日銀の独立性に対しての直接的な言及も見られている。

デフレの定義云々の是非はともかくとして、政府サイドからの圧力に関して、市場の評判は芳しくない。日銀は福井総裁を筆頭に量的緩和政策の意味や導入時の狙いを改めて総括することによって、まずは量から金利への政策ターゲットの変更を画策してきた。実際、量的緩和政策からの早期脱却のイメージ付けに成功しながらも、債券市場での混乱はこれまでのところ回避され、“それは仕方のないこと”という印象を市場に植え付けてきた。日銀が失敗（あるいは勇み足）したとすれば、短期金利が来年度中の利上げを織り込んでも、特にこれを牽制するような行動を取らなかった点にある。これにより、“日銀は量的緩和を解除した後、速やかに利上げに移る”との印象を与えた。すなわち、量的緩和解除と利上げはセットであると見なされることを否定しなかった。これが、政府による“いかなるものか論”に拍車をかけたと言える。

日銀にとって、金融政策のターゲットを量から金利へと正常な状態に戻すことは悲願であろう（定率減税の廃止を税制改正前に行うことが悲願であるとの議論と同じにも聞こえるが・・・）。しかし、その目標を早期に達成しようとするならば、金利の過度の上昇を抑えるためにそれが利上げとは異なるものであること

とセットで市場に認識させる必要があったはずだ。そうした配慮をしなくても、金融マーケットが混乱しなかったことが、日銀の油断を招いたのかもしれないし、できるならば景気に見合った水準への利上げも早く行いたいとの“本音”が、そうさせたのかもしれない。いずれにせよ、このような状態の中では、ゼロ金利解除の議論も整理して、政府や市場の理解を求める必要がある。そして、そのハードルは必要以上に高く設定しなければならないかもしれないってしまった。

折しも先週末、ユーロ圏ではトリシェ ECB 総裁が、早期利上げを示唆する発言を行い、欧州債市場では長短ともに金利が急上昇した。外需の回復とともに企業の景況感も改善しているものの、ドイツなどを中心に内需は引き続き脆弱である。高失業も変わっておらず、フランスの暴動の一因もここにある。また、ユーロ圏では財政規律の縛りが厳しいがために、金融政策には常に緩和バイアスへのプレッシャーがかかっている。当然、政府サイドからの“口撃”も激しいが、最終的に ECB の判断がリスペクトされる。この背景には、中央銀行の独立性という概念が（日本に比べて）確立していることと、市場を中心に中央銀行の独立性を守ろうという意識が高いことなどが影響していると考えられる。この点、日本と欧州の“中央銀行の立場の違い”を再認識する日々である。

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、日米などで金利は低下した一方、ユーロ圏では短期ゾーン中心に金利は上昇した。日本では、政府による日銀の量的緩和解除への牽制が尾を引く格好で、金利の低下基調が続いた。一方、ユーロ圏ではトリシェ ECB 総裁が早期利上げを示唆する内容の発言を行ったことから、金利は発言のあった週末に短期ゾーン中心に急騰した。今週は、欧米では注目される経済指標の発表がない。しかし、ユーロ圏では前週末のトリシェ発言の余韻で金利はボラティルな展開が続きそう。日本では、週末に発表される消費者物価が注目される。日銀が政策判断の指針としている生鮮食品を除いた全国ベースが、コンセンサス通り前年比横ばいとなれば、こここのところ低下基調を辿った長短金利はやや上昇すると見られる。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、世界的に株価は上昇。金利低下や原油価格の下落が、株価上昇を後押しした。主要国の株価指数では、日経平均のほか、フィラデルフィア半導体株指数のパフォーマンスが前週に続き良好。日経平均株価は、小泉政権発足時の水準をようやく上回った。今週は、材料難の中、引き続き金利や原油価格などの動向を背景に、米クリスマスセールの動向などを占う展開となろう。日本では、週末の消費者物価や銀行の決算が注目される。こここのところ上昇が続いていることもあり、そろそろ一服の可能性もある。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、まちまち。金利が低下した円は対ドルで前週末水準から小幅下落した一方、金利が上昇したユーロは堅調。米金利自体は前週に続き小幅低下したことから、ドルは総じて上昇に歯止めがかかった。今週は、早期利上げ観測の高まったユーロの動向が注目される。ユーロ圏でも金利を景気に対して中立的な水準まで引き上げるような議論が出るようだと、ユーロの上昇幅は大きくなる可能性も。現状ではそこまでは見込み難いものの、中期的にユーロ金利の水準調整が起こるとの見方は定着しそうで、ユーロ堅調を予想。一方、日銀の量的緩和に絡んだ議論は ECB の行動と際立った違いを見せており、円売り要因。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、原油価格は下落した一方、非鉄金属などは上昇。原油は原油需給が改善しているとの見方が継続して下落したものの、WTI で前週末対比▲0.6%の下落にとどまるなど、そのペースは大幅に鈍化した。また、非鉄金属は投機マネーが流入しているとの見方が強まるなど上昇傾向が続いているが、先週も金が1988年来の水準に達した。今週は、原油価格は特別の材料がない限りは下落に歯止めがかかると予想される。ただし、当面は需給の緩和状況は続く見込みで、反転したとしても小幅にとどまろう。

[債券市場]

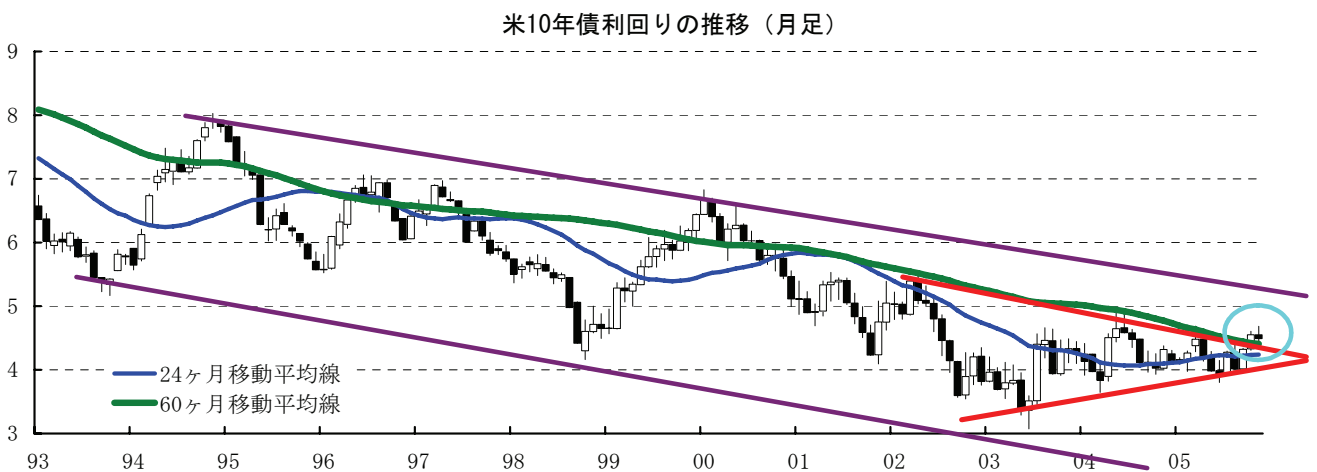
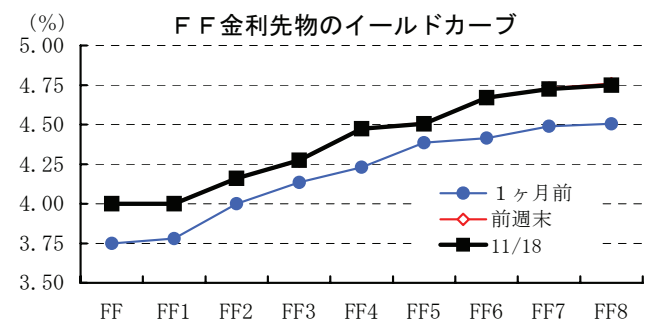
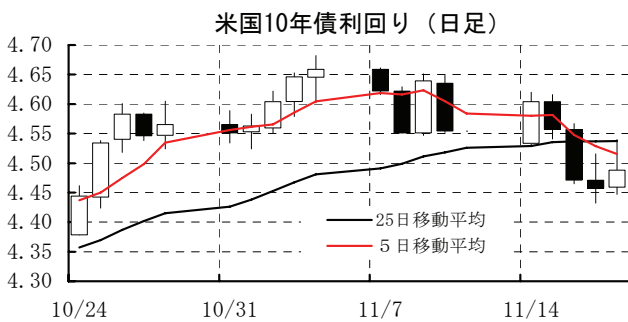
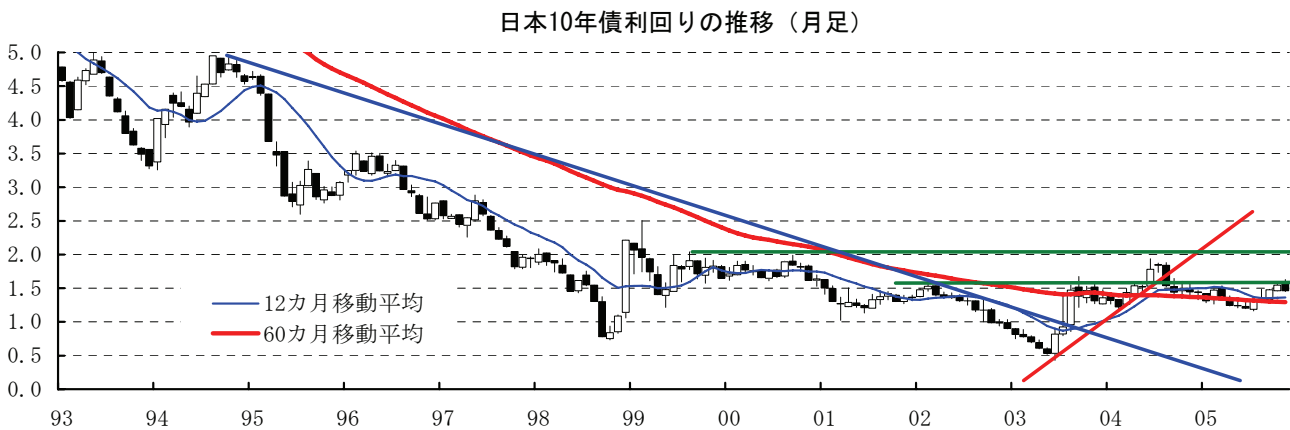
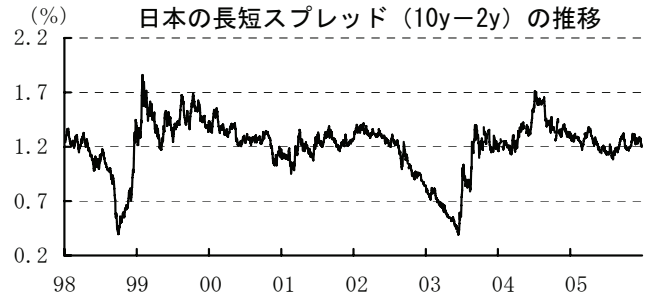
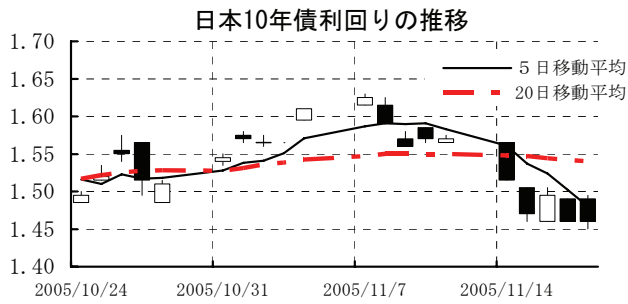
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
2年	日本	0.251	+14	▲4	▲4	+0	▲1	+4	+3	+9	+6	+6	▲4
	米国	4.384	+154	+14	▲4	▲3	+1	+38	▲20	+35	+21	+8	▲4
	イギリス	4.307	▲28	+3	+0	▲21	▲24	+11	▲6	+9	+13	+9	+1
	ドイツ	2.829	+37	+32	+10	▲7	▲16	+23	▲5	+20	+24	+8	+3
	スイス	1.580	+43	+35	+2	▲3	▲12	+9	+5	+15	+31	+23	▲5
	スウェーデン	2.404	▲16	+21	+6	▲11	▲32	+15	+9	+12	+6	+9	+1
	ポーランド	4.845	▲211	+35	▲11	▲30	▲55	+6	▲26	▲6	+45	+14	+7
	カナダ	3.755	+53	+27	+2	▲10	▲14	+21	▲4	+35	+28	+9	+4
	メキシコ	8.177	▲74	▲24	▲13	▲62	▲28	+2	▲49	▲32	+6	▲0	▲16
	ニュージーランド	6.785	+57	N.A.	N.A.	▲11	▲1	▲9	▲4	+22	+2	N.A.	N.A.
	オーストラリア	5.256	+12	▲10	▲5	▲6	▲4	▲1	▲12	+27	+6	+9	▲9
	韓国	5.119	+174	+25	▲3	▲12	+34	+17	▲9	+46	+32	+19	+8
	シンガポール	2.640	+107	+33	▲2	▲1	▲12	+7	+1	+28	+12	+26	+5
	タイ	4.573	+196	▲1	▲27	+6	+11	+41	+29	+16	+95	▲20	+23
インド	6.137	+1	+1	+2	▲15	+3	▲8	+5	+5	▲2	▲2	+5	
10年	日本	1.460	+3	▲9	▲11	+1	▲9	+14	+3	+14	+7	+10	▲4
	米国	4.488	+38	+2	▲7	▲13	▲16	+36	▲26	+31	+23	+9	▲11
	イギリス	4.268	▲44	▲14	▲17	▲14	▲22	+14	▲16	+13	+5	+8	+0
	ドイツ	3.539	▲27	+25	+3	▲6	▲20	+11	▲14	+5	+24	+9	+2
	スイス	2.217	▲21	+30	▲1	▲26	▲4	▲2	▲7	+1	+22	+17	▲1
	スウェーデン	3.433	▲68	+23	+2	▲13	▲26	+6	▲6	+5	+24	+15	▲0
	ポーランド	5.473	▲92	+56	▲11	▲44	▲45	+23	▲17	▲2	+60	+28	+0
	カナダ	4.108	▲36	+4	▲6	▲17	▲22	+12	▲8	+18	+20	+5	▲4
	メキシコ	8.715	▲164	▲10	▲5	▲98	▲21	+4	▲63	▲24	+32	▲3	▲16
	ニュージーランド	5.862	▲18	+2	▲15	▲14	+3	▲1	▲7	+23	+8	+15	▲4
	オーストラリア	5.348	▲8	▲11	▲10	▲17	▲7	+2	▲8	+32	+12	+13	▲11
	韓国	5.758	+177	+30	▲8	▲27	+45	+23	▲19	+28	+43	+11	+16
	シンガポール	3.160	+18	+21	▲1	▲24	▲1	+0	+20	+3	+18	+27	▲7
	タイ	6.330	+143	+27	▲5	▲2	▲33	+60	+32	+40	+124	▲15	+5
インド	7.093	▲5	▲6	▲2	▲33	▲13	+8	+12	+0	+1	+1	+1	
長短スプレッド	日本	+120.9	▲11	▲5	▲7	+1	▲8	+10	+1	+5	+1	+4	+0
	米国	+10.4	▲117	▲12	▲2	▲10	▲17	▲2	▲6	▲4	+2	+1	▲6
	イギリス	▲3.9	▲16	▲17	▲17	+7	+3	+4	▲9	+4	▲8	▲1	▲1
	ドイツ	+71.0	▲64	▲7	▲7	+0	▲4	▲12	▲9	▲15	+1	+1	▲2
	スイス	+63.7	▲64	▲5	▲3	▲22	+8	▲11	▲12	▲13	▲9	▲7	+5
	スウェーデン	+102.9	▲52	+2	▲5	▲3	+6	▲9	▲15	▲7	+18	+6	▲1
	ポーランド	+62.8	+119	+21	+0	▲14	+9	+17	+10	+4	+15	+13	▲6
	カナダ	+35.3	▲89	▲23	▲7	▲7	▲8	▲9	▲4	▲17	▲7	▲5	▲8
	メキシコ	+53.7	▲90	+15	+8	▲36	+7	+2	▲14	+8	+26	▲3	▲1
	ニュージーランド	▲92.3	N.A.	N.A.	N.A.	▲3	+4	+8	▲3	+1	+7	N.A.	N.A.
	オーストラリア	+9.2	▲19	▲1	▲5	▲11	▲3	+3	+4	+4	+6	+4	▲2
	韓国	+63.9	+3	+4	▲4	▲16	+12	+6	▲10	▲18	+12	▲9	+9
	シンガポール	+52.0	▲89	▲12	+1	▲23	+11	▲7	+19	▲25	+6	+1	▲12
	タイ	+175.7	▲52	+28	+22	▲8	▲44	+20	+3	+24	+29	+5	▲18
インド	+95.6	▲6	▲7	▲4	▲18	▲16	+15	+7	▲5	+2	+3	▲4	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例: 4週前=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。

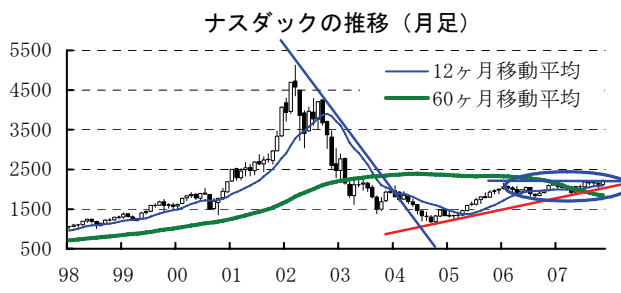
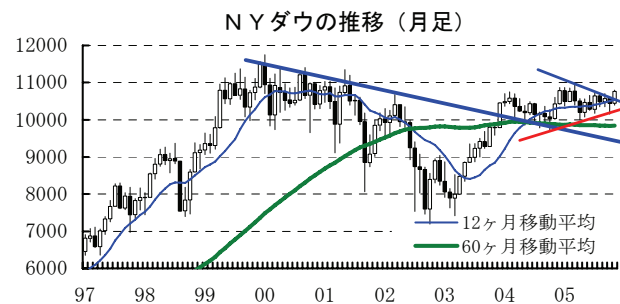
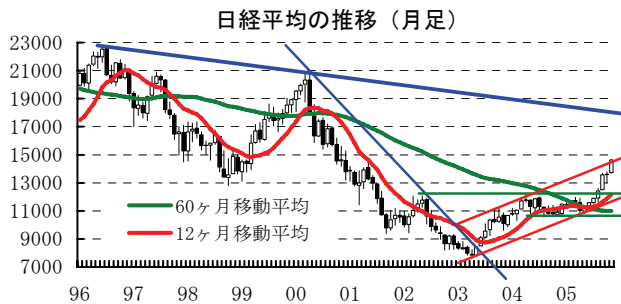
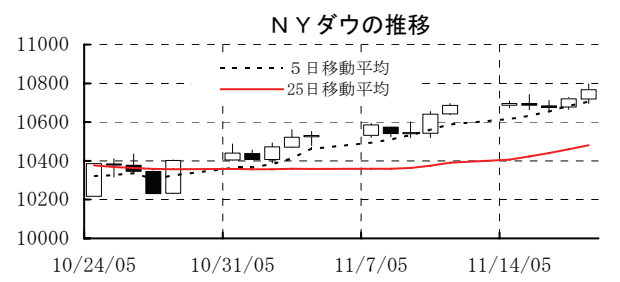
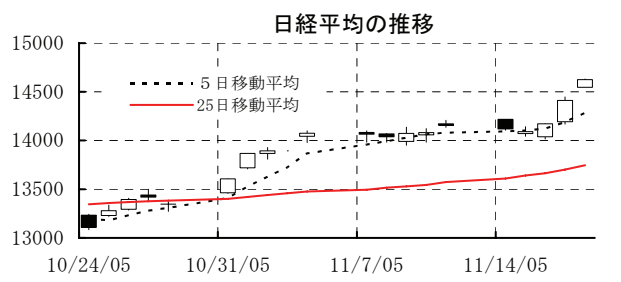


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
日本	日経平均	14623.12	+31.9	+9.5	+3.3	+2.4	+2.7	+2.7	+4.3	+9.4	+0.2	+5.5	+0.6
	TOPIX	1531.65	+38.0	+10.0	+2.5	+1.3	+2.9	+2.4	+5.5	+11.1	+2.3	+5.3	▲0.0
	日経店頭	2336.70	+37.0	+7.1	+1.1	▲2.0	+3.9	+3.3	+1.2	+2.0	+5.0	+2.5	+1.5
米国	NYダウ	10766.33	+1.8	+4.7	+0.8	+2.7	▲1.8	+3.6	▲1.5	+0.8	▲1.2	+1.2	+1.5
	S P500	1248.27	+5.5	+6.0	+1.1	+3.0	▲0.0	+3.6	▲1.1	+0.7	▲1.8	+1.8	+1.2
	ナスダック	2227.07	+5.8	+8.3	+1.1	+7.6	▲0.5	+6.2	▲1.5	▲0.0	▲1.5	+3.8	+1.5
	フィデリティ半導体	478.46	+7.4	+8.9	+3.8	+11.2	▲2.3	+13.2	▲0.1	+0.3	▲9.0	+6.3	+2.1
イギリス	FT100	5498.90	+14.4	+4.5	+0.6	+3.4	+3.0	+3.3	+0.3	+3.4	▲2.9	+4.0	+0.8
ドイツ	DAX	5123.50	+22.6	+3.6	+0.6	+6.6	+2.8	+6.5	▲1.2	+4.4	▲2.3	+3.5	+1.9
欧州	ダウ欧州50	3287.70	+17.5	+3.4	▲0.3	+4.2	+3.5	+3.4	▲0.8	+4.7	▲1.8	+4.0	+1.2
スウェーデン	ストックホルムOMX	918.98	+22.8	+5.6	+0.5	+5.7	+3.8	+5.0	▲1.7	+5.5	▲1.5	+3.9	+1.9
ポーランド	ワルシャワWIG	33667.04	+32.9	+5.5	+2.0	+3.6	+5.9	+7.5	+3.0	+7.8	▲5.3	+5.0	▲0.9
ロシア	RT	1013.92	+48.7	+10.4	+4.6	+0.6	+4.8	+10.3	+12.9	+14.6	▲7.2	+6.8	▲0.3
メキシコ	ボルサ	16545.44	+37.4	+9.7	+2.5	+5.2	+4.0	+6.8	▲1.2	+13.2	▲2.2	+2.1	+1.5
ブラジル	ボバスバ	31102.37	+28.8	+7.0	+1.9	+1.5	▲0.6	+4.0	+7.7	+12.6	▲4.4	+5.4	▲1.2
アルゼンチン	メルバル	1603.75	+26.9	+0.9	+0.7	+10.2	▲8.0	+10.3	+4.9	+7.2	▲5.1	+4.3	▲4.8
NZ	ニュージーランドSX50	3326.02	+14.2	▲0.6	+1.7	+1.7	+7.0	+3.5	▲0.2	+3.0	▲4.3	+1.7	▲1.7
オーストラリア	AS200	4671.10	+20.4	+4.7	+2.1	+3.1	+4.2	+2.6	+1.3	+4.4	▲3.9	+3.1	+1.2
香港	ハンセン	14883.32	+7.9	+2.0	+1.0	▲0.3	+2.4	+4.8	+0.2	+3.5	▲6.8	+2.6	+1.1
韓国	総合	1272.25	+45.3	+7.3	+1.3	+6.5	+3.9	+10.2	▲2.5	+12.7	▲5.2	+7.1	+2.8
台湾	加権	6106.74	+0.9	+4.7	+0.5	+3.3	+3.8	+1.1	▲4.4	+1.4	▲5.8	+4.9	+2.8
シンガポール	ST	2293.20	+12.8	+0.4	+1.2	+1.7	+2.4	+6.3	▲3.3	+1.3	▲3.8	+3.4	▲0.0
タイ	SET	676.41	+4.6	▲2.7	▲2.0	+1.3	+1.2	+0.0	+3.3	+3.6	▲5.7	+3.5	▲2.2
インド	ムンバイSENSEX30	8686.65	+44.2	+6.9	+2.5	+9.1	+7.1	+6.1	+2.2	+10.6	▲8.6	+5.0	+4.9
中国	上海A	1174.08	▲18.2	▲2.1	+2.5	▲8.5	+2.0	+0.3	+7.3	▲0.7	▲5.4	+1.8	▲0.9

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

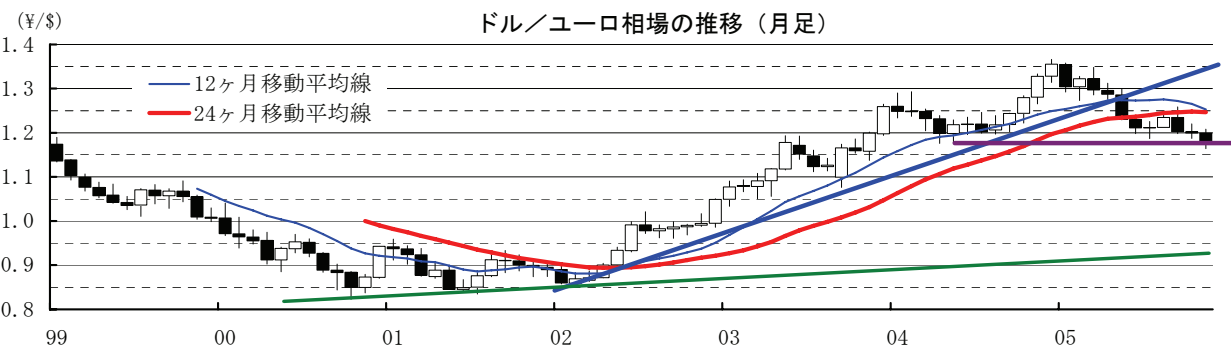
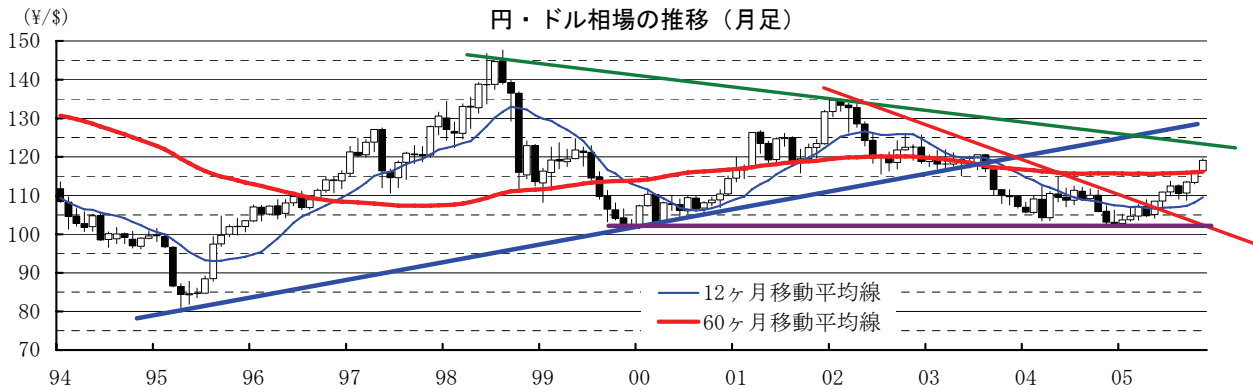
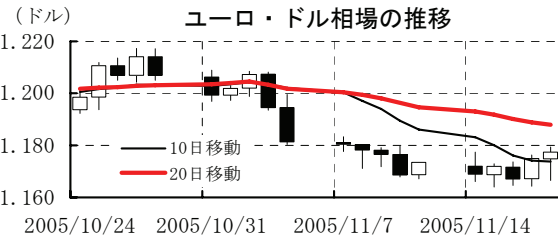
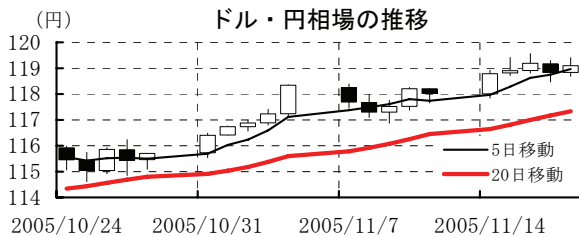


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
日本円	119.10	▲14.3	▲2.9	▲0.9	▲3.6	▲2.2	▲1.4	+1.7	▲2.6	▲2.5	▲2.3	+0.3
ユーロ	1.1774	▲9.2	▲1.5	+0.3	▲4.4	▲1.6	+0.1	+1.8	▲2.6	▲0.3	▲2.1	▲0.7
イギリスポンド	1.7179	▲7.1	▲1.9	▲1.4	▲4.8	▲1.4	▲1.9	+2.6	▲2.2	+0.3	▲1.4	▲0.4
スイスフラン	1.3141	▲12.2	▲1.2	▲0.3	▲4.5	▲2.7	▲0.6	+2.8	▲3.3	+0.4	▲2.1	▲0.3
スウェーデンクローナ	8.150	▲18.3	▲3.1	+0.1	▲5.2	▲5.0	+0.5	+2.7	▲2.5	▲2.8	▲2.9	▲0.4
ポーランドズロチ	3.384	▲3.9	▲4.1	+1.7	▲7.2	+1.4	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.3	▲2.3	▲1.4
ロシアルーブル	28.765	▲0.4	▲0.5	+0.3	▲1.3	▲1.4	+0.0	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.4	▲0.9
カナダドル	1.1885	+1.4	▲0.9	+0.1	+0.3	+2.4	+0.1	+2.9	+2.1	▲1.7	▲0.5	▲0.5
メキシコペソ	10.663	+5.7	+1.8	+0.1	+2.6	+1.2	+1.4	▲1.5	▲0.1	▲0.3	+0.7	+0.7
ブラジルレアル	2.226	+19.3	+0.7	▲3.0	+10.2	+3.1	▲2.0	+0.9	+5.5	▲1.1	+2.3	+2.3
アルゼンチンペソ	2.943	▲0.2	+0.9	+0.8	+1.2	▲0.2	+0.9	▲1.8	+0.1	▲3.2	+1.1	+0.5
NZドル	0.687	▲3.0	▲1.1	+0.1	▲1.0	▲1.0	▲2.4	+2.3	▲0.7	+1.3	▲2.9	+0.6
オーストラリアドル	0.7333	▲5.7	▲2.0	+0.1	▲3.3	+0.9	▲0.8	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲2.1	▲0.0
韓国ウォン	1036.35	+3.9	+1.5	+0.5	+0.5	▲2.6	+0.7	▲0.7	▲0.8	+0.2	▲0.4	+0.6
台湾ドル	33.632	▲3.1	▲0.1	▲0.5	+0.5	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲1.3	▲1.1	▲0.2	+0.5
シンガポールドル	1.6995	▲2.8	▲0.2	+0.1	▲1.8	▲1.1	+1.3	▲1.1	▲0.6	▲0.1	▲0.7	+0.0
タイバツ	41.18	▲2.7	▲0.8	▲0.3	▲3.0	▲1.7	▲0.8	+0.9	+0.6	+0.7	▲0.6	▲0.0
インドネシアルピア	10078	▲11.5	+0.2	▲0.9	▲0.5	▲2.5	▲0.5	▲5.0	+0.0	+1.7	▲0.3	+0.8
インドルピー	45.75	▲1.6	▲1.3	▲0.1	+0.1	+0.5	+0.0	▲1.5	+0.3	▲2.4	▲0.9	▲0.5

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～ 1月前～ 前週末～			月間					週間		
		1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
WTI	57.21	+23.8	▲9.5	▲0.6	+4.5	+8.7	+7.2	+13.3	▲3.5	▲9.7	▲1.0	▲5.0
北海ブレント	54.88	+28.5	▲7.4	▲0.2	▲0.7	+9.6	+6.8	+12.9	▲5.3	▲8.5	▲0.3	▲7.2
ドバイ	50.46	+51.4	▲6.6	▲1.3	▲2.3	+17.4	+4.1	+10.8	▲3.8	▲8.4	+1.6	▲6.5
OPECバスケット	50.11	+41.2	▲9.3	▲0.3	▲0.6	+9.3	+4.2	+12.7	▲5.0	▲7.4	+1.0	▲7.4
金 (NY)	486.2	+9.8	+3.0	+3.6	▲4.5	+5.0	▲1.6	+1.2	+7.8	▲0.4	▲3.6	+2.5
銅 (NY)	209.90	+42.3	+8.8	+5.0	+0.8	+3.2	+8.6	+0.9	+5.8	+5.2	+2.0	+3.4
アルミ (NY)	94.65	+6.9	+4.1	▲0.4	▲5.2	▲2.4	+8.1	▲0.3	+1.1	+6.1	+4.2	+1.3
小麦 (シカゴ)	302.00	▲4.5	▲8.1	▲3.0	+4.3	▲3.1	+1.9	▲8.0	+14.8	▲8.4	▲2.0	+0.1
大豆 (シカゴ)	172.20	+7.6	+0.7	▲5.2	+10.4	▲3.6	+2.6	▲14.1	▲8.3	+1.5	+4.4	+3.1
コーン (シカゴ)	191.25	▲6.3	▲5.3	▲2.2	+8.4	▲4.4	+11.4	▲14.8	+2.0	▲4.5	▲0.8	+0.0
CRB	312.74	+8.6	▲5.0	▲0.9	▲1.0	▲0.3	+4.0	+5.6	+1.1	▲5.0	▲1.0	▲1.0
JOC	116.40	+3.4	▲4.0	+0.2	▲2.8	▲1.4	+0.2	+5.5	+6.7	▲5.0	▲0.1	▲0.1
日経商品指数 (17種)	114.78	+9.0	+3.4	+0.7	▲0.0	+0.6	+1.2	+0.3	+1.0	+3.1	+1.5	▲0.0
日経商品指数 (国際)	105.47	+19.9	▲4.3	▲1.6	▲3.2	+3.1	+4.5	+2.9	+2.5	▲2.1	▲0.0	▲1.1

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。

